

令和4年度
自己点検・評価および学校関係者評価報告書

令和5年3月

学校法人ミズモト学園
東海こども専門学校

1 学校の概況

1. 設置者 学校法人ミズモト学園 理事長 水元久人
2. 学校名 東海こども専門学校
3. 校長名 水元久人
4. 専修学校認可 平成27年3月31日
6. 専修学校開校 平成27年4月 1日
7. 所在地 〒430-0915 静岡県浜松市中区東田町 36-8
(Tel) 053-413-2006
8. 課程 保育士養成課程 こども学科

9. 学校の沿革

- 1973年 浜松市田町に水元クッキングスクールを開校
- 1977年 浜松市高林に東海調理師専門学校を開校
- 1984年 学校法人ミズモト学園を設立
- 2005年 浜松医療福祉専門学校を浜松市連尺町に設置
- 2012年 浜松医療福祉専門学校に「こども学科」を新設
- 2015年 東海こども専門学校を開校
- 2021年 浜松医療福祉専門学校を東海歯科衛生士専門学校に改称
東田町校舎に移転 現在に至る

10. 建学の精神

心・技・知・友 (健全な心を養い、技術を磨き、知識を広め、友を作ろう)

11. 教育理念

(1) プロを目指すなら一流を目指せ。

他の人より優れた技術と知識を習得し、研究と努力を喜びとし、己の職業に誇りと生きがいを感じ、心身共に健全な人、
これを一流のプロと言う。

(2) 人間の能力は、思考と努力で無限に高められる。

人は誰でも計り知れない可能性を持っている。可能と思えば可能になり、不可能と思えば、その瞬間から不可能となる。

12. 教育目的

教育基本法の本質に則り、学校教育法に従い、未来を担う子どもたちを育てる豊かな人間性と専門的知識、実践力を身につけた保育者を養成することを目的とする。

13. 教育目標

東海こども専門学校は、建学の精神や教育理念に基づき、業界が求める即戦力となる教育者及び保育者の育成のため、幼児教育や保育に関する確かな理論と実践力を身につけ、高い意識と能力を持った「保育士」や「幼稚園教諭」を養成する。充実したカリキュラム、経験豊富な教師陣、最新の施設設備のもと、確かな知性と豊かな人間性を備えた、地域の教育に貢献できる有意義な「保育・幼児教育のスペシャリスト」の育成を教育目標とする。

14. 設置学科

こども学科（2年 男女 入学定員40名）

15. 学生数（令和4年5月1日現在）78名

16. 教職員数（令和4年4月1日現在）7名（教員6名 事務職員1名）

17. 学校建物面積 470.94㎡

2 本年度定めた重点目標

（1）教員の指導力向上

- ①年2回以上他の先生（校外・校内問わず）の授業を見学する。
- ②研究紀要の発行

（2）学生募集目標の達成

- ①学生募集目標40名入学（充足率100%）
- ②オープンキャンパスの工夫 歩留率65%以上（目標（62名））
- ③DM発送（年4回以上の発送）

（3）学生指導の徹底

- ①退学率5%以下
- ②ピアノの基礎技術習得

（4）資格合格率100%

- ①国家試験合格率100%
- ②保育・幼稚園実習指導の充実

（5）就職率100%の達成と進路指導の向上

- ①就職内定率100%

3 自己点検・自己評価委員会

（1）委員名簿

- ① 理事長・校長 水元久人(委員長)
- ② 専任教員 徳増全矢
- ③ 専任教員 中根優子
- ④ 専任教員 楠本高大

（2）自己点検・自己評価の委員会開催記録

- 令和4年4月26日 第1回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和4年9月30日 第2回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和5年2月 1日 第3回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和5年2月 1日 自己点検・自己評価の実施

令和5年2月28日 自己評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和5年5月25日 自己評価の設置者への報告(理事会で報告)

令和5年6月 1日 自己評価の公表

4 学校関係者評価委員会

(1) 委員名簿

- ① 鈴木 隆之 浜松文芸館 館長
- ② 鈴木 愛弓 わかくさ保育園 保育士(卒業生)
- ③ 高瀬 敏雄 学校法人ミズモト学園 評議員
- ④ 山城 稔 学識経験者

(2) 学校関係者評価委員会開催記録

令和4年6月 2日 第1回学校関係者評価委員会

令和5年3月14日 第2回学校関係者評価委員会

令和5年3月14日 学校関係者評価の実施

令和5年3月28日 学校関係者評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和5年6月 1日 学校関係者評価の結果及び改善方策の公表

5 自己点検・評価および学校関係者評価一覧

(1) 教育理念・目標

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学園として建学の精神・理念・育成人材像を学校ホームページや体験入学等で周知し、目的は学則に明記している。学生には学生便覧、入学式、新入生研修で周知している。	4	
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	本校の特色を明確にし、学校案内やホームページにも掲載している。またそれに沿った職業教育を実践している。	4	即戦力としての実習・演習の多さが、現在にいかせている。(鈴木愛委員)
1	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	学園全体また学校としての短期・中期の経営計画を立てて学校運営に取り組んでいる。	4	
1	4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	学生に配布する「学生便覧」に明記し保護者には入学式および学生便覧配付後に保護者にも確認してもらうよう周知している。また、学校案内やホームページにも掲載している。	4	
1	5	学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	学校関係者評価委員会での意見や保育現場からのニーズ、保育実習先へ教員訪問等を通して現場のニーズを捉え、教育活動に反映させている。	4	卒業生の意見やニーズを聞くなどして、教育・就職に結びつけられると良い。(山城委員)
<p>(1) 課題 多様化する保育のサービスに対応できる教育内容への取り組みが課題</p> <p>(2) 改善策 教育現場と保育現場との連携を強化する</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(2) 学校運営

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目			自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
2	1	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	年度毎に事業計画が作成され、学園会議での協議を経た後、理事会・評議委員会での承認を経て策定される。	4	
2	2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	年度毎に事業計画に沿った運営方針が策定され、年度当初の学園全体会で全教職員に周知しそれに取り組む体制も整えている。	4	
2	3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	年度当初の学園全体会で学園、学校組織図が発表され職務役割が明確にされている。校務分掌も毎年見直し意思決定、業務共に概ね有効に機能している。	4	
2	4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	法人本部労務において、必要に応じて就業規則を見直し整備している。	4	
2	5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては、職員会議を経て校長が決定する。財務に関しては、法人本部において経理規程に則って執行される。	4	
2	6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	業界、地域からの苦情に対して教職員が情報を共有し、早急に対応する体制を整えている。	4	
2	7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	学校紹介・施設設備・資格取得・就職サポート等の学校情報をホームページ上に公開している。また、日々のトピックスも公開し情報発信をしている。	3	時代の変化に応じて、情報発信をしていく必要がある。(高瀬委員)
2	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	学籍管理、出欠管理、成績管理、学生募集、求人票の管理において各種ソフトを用いて効率化を図っている。	3	

- (1) 課題 安定した学校の運営のため、人材確保が課題。
- (2) 改善策 人材確保については今後、検討していく。
- (3) 特記事項 特になし。

(3) 教育活動

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
3	1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育目標に沿ったカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)を策定し、教育課程を編成している。	4	
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき教育課程を編成し、授業科目毎の教育目標や到達目標をシラバスに明記している。	3	
3	3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムポリシーや教育目標に基づき、知識・技術が定着につながるよう体系的に編成している。	4	
3	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	実践的な保育者の業務・役割を学べるよう、秋休みを導入し、再実習時間の確保や自主実習の促進をし、現場での保育者の業務・役割を学べるようにしている。	4	不適切保育な保育など、社会的なイメージの低下があるので、実習を通して保育の良い面が見つけられると良い。(山城委員)
3	5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	外部講師や養成校意見交換会等から保育業界の現状等の情報を受け、カリキュラム作成、見直しの参考にしている。	4	
3	6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次より保育実習を実施し、事前事後指導の実施をする。職業意識と目的意識の向上を図る。2年生では施設・幼稚園・保育園実習を行い、段階的且つ実践的な職業教育を実践し、職業意識と目的意識の向上を図る。	4	
3	7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	前後期の年2回、学生による授業評価として「授業アンケート」を全教員が実施し、その結果を教職員で共有し、授業改善や質の向上に取り組んでいる。	4	学校は教員の質が重要であることを忘れずに、日々研鑽してほしい。(高瀬委員)
3	8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	「学校関係者評価委員会」において学識経験者、教育業界関係者および卒業生からの助言等を取り入れ、職業教育の改善の参考にしている。	4	

3	9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	本校学則の「実施細則」により規定され、「学生便覧」をもって学生及び保護者に周知している。	4	
3	10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	レポートの作成のため、図書室の開放や、教員による個別相談などきめ細かく行う体制をとっている。	4	
3	11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	保育士養成の指定基準(養成校設置ガイドライン)に基づき資格や経験年数を満たすとともに、本校の教育目標を具現化できる教員を採用している。	3	
3	12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	保育業界において知識、技術等の専門性に長け、現場経験10年以上ある人材を採用する方針をとっている。	4	
3	13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	豊岡短大の紀要に寄稿。また、学内での紀要を作成。研修会等への積極的参加をしている。	4	先生方の日々の努力が表れている。(山城委員)
3	14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	学園全体の教職員研修を年1回、資質向上・能力開発等を目的に実施し、新任教員は新任教員研修を実施している。	3	
<p>(1) 課題 教員の職業教育に関する知識、技術不足が課題。</p> <p>(2) 改善策 教員による自己の不足分をどのような形で自己研鑽していくか教員ごと検討を行う。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(4) 学修成果

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
4	1	就職率の向上が図られているか	4	就職率は開校以来100%を維持している。早い段階から自主実習への参加を促し、キャリアデザインの授業を設け、就職面談や履歴書等の作成や面接指導を行う体制をとっている。	4	就職率100%は素直に素晴らしい。(高瀬委員)
4	2	資格取得率の向上が図られているか	4	レポートの提出期限の遵守、教科担当から推薦図書 of 募集などを行い、学習習慣の形成を図る。	4	目的意識を持ち、習慣化することはとても重要 (山城委員) 図書が増えて充実することは良い。(高瀬委員)
4	3	退学率の低減が図られているか	4	学生と担任との個人面談を全学年3回/年実施し、学生の個々の状況等を把握するよう努めている。問題がある学生は都度面と保護者との連携を図る体制を整えている。	4	教員が支え「孤独」を作らない配慮を。(山城委員)
4	4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	来校卒業生や実習先勤務等の現場で活躍している卒業生からの情報提供により把握している。	4	
4	5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	新入生研修での卒業生講話や現場で活躍している卒業生からの情報提供により、本校での教育効果を把握し、教育活動に活かす取組をしている。	3	卒業生の意見を聞くなどし、キャリア形成に結び付けていくのも効果的ではないか。(山城委員)
<p>(1) 課題 卒業生状況を把握し、教育内容や進路指導にフィードバックさせる体制の強化が課題。</p> <p>(2) 改善策 卒後登録の準備と卒業生との交流会の企画。各学年2回/年の卒業生講話の実施。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(5) 学生支援

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
5	1	進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	求人票や、過去の就職試験情報などが、いつでも閲覧できるコーナーを設置している。就職への意欲を促すよう、内定者の貼り出しスペースを設置している。教員による就職面談、就職活動を支援し的確なアドバイスをしている。	4	
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任制をとっているため学生からの相談は主として担任が応じるが、必要に応じて他の教員が対応する体制はできている。	4	
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	日本学生支援機構貸与奨学金・ミズモト学園貸与奨学金等制度により、学生の経済的側面に対する支援体制を整備している。令和5年度より、高等教育の修学支援新制度の対象校となる。	4	
5	4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に健康診断を実施、今年はコロナウイルス感染症にともない「健康・行動調査票」を取り入れ担任が確認している。	4	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	ボランティア活動や保育・福祉に関するアルバイトの募集等についてクラスに掲示し、積極的に参加を促している。	4	
5	6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	担任が年3回、定期的に個人面談をし、生活上の悩み等の相談を受け助言をしている。また保護者との連携を密にして生活環境の整備に努めている。	4	メンタルの不調を訴える学生には、褒めて伸ばす手法も大切なのは。(山城委員)
5	7	保護者と適切に連携しているか	4	学則・教育課程においては入学時に学生便覧において提示すると共に、履修および出席状況や生活全般については必要に応じて保護者面談を実施し綿密に保護者との連携を図	4	

				っている。		
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	卒業後の転職、再就職に対しては来校を促し、求人票の閲覧や求職サイト等の案内を積極的に行う。	4	
5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内での職業別ガイダンスへの参加、インターンシップや体験授業の受け入れなど積極的に行っている。	4	訪問した学校から反応をもらおうと高校生も嬉しい。(高瀬委員)
<p>(1) 課題 卒業生への支援と現状把握</p> <p>(2) 改善策 卒後登録システムの準備、実行</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(6) 教育環境

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	専修学校設置基準および指定保育士養成施設ガイドラインの基準を満たし、適切に整備されている。	4
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる教材、器材およびソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。	3	演習資材の補充、実習器具の定期的な入替えをし、設備の充実を図っている。また沐浴人形4体を追加した。	3
6	3	教員に対して、学習指導のための研修や教材の利用についての研修を実施しているか	4	新任教員に対して教員としての教育指導研修、学園全体の教員研修を年1回実施。週1回の学科会議による指導方針の確認。	4
6	4	学内外の実習施設、インターンシップ、教育研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	1年次より保育実習の実施。保育・施設・幼稚園実習先との連携を図り、学年により段階を踏んだ現場実習を実施する。	4
6	5	防災に対する体制は整備されているか	4	学園の防災マニュアルに基づいて、緊急連絡体制及び緊急対応の体制も整っている。また、校内において防災訓練を年間に1回実施している。	4
<p>(1) 課題 教員の指導力向上のための研修の実施や参加が課題。</p> <p>(2) 改善策 研修会に参加する教員の授業日程等の調整。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(7) 学生の受入募集

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	広報年間スケジュールに則り、高校訪問・DM発送・SNSの配信、校外でのガイダンス等を行い、年間を通じてオープンキャンパス等を実施している。	4
7	2	学校案内等には選考方法など求める人物像や入学に必要なが学力、スキルなどの要件が明示されているか	4	学校案内書、入試要項、ホームページにおいて入学資格、選考方法、求める人物像を明示している。	4
7	3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	資格取得率、就職内定率、就職実績などを学校案内書やホームページやオープンキャンパスでも説明している。	3
7	4	学納金は妥当なものとなっているか	4	教育内容や施設設備等を総合的に勘案し、適切な金額を考えている。	4
<p>(1) 課題 オープンキャンパス来校者数の増加</p> <p>(2) 改善策 オープンキャンパス来校を促す効果的なSNS、DM、ガイダンスなど広報ツールの活用</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(8) 財務

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	学園および学校として学科の改編を行い財務基盤の安定を図っている。また経費削減を図る一方で、施設や設備を充実させ入学者の確保につなげる策を講じている。	4	
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画に基づき学校単位で作成され、評議員会を経て理事会にて決定されている。予算執行は予算の権限者により有効性・妥当性を考慮して行われている。	4	
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	私立学校振興助成法に基づく第三者である公認会計士による会計監査を実施しており適正である。	4	
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	私立学校法で情報開示の対象となっている財務諸表は毎年作成しており、令和3年度において財務諸表のWEB上での情報公開の体制を整備した。	4	
<p>(1) 課題 ①安定的な入学者の確保 ②建物の経年に伴う老朽化対策および施設ならびに教育環境の整備に要する支出の増加</p> <p>(2) 改善策 ②優勢順位をつけた教育環境整備の計画を作成し、計画的に整備していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(9) 法令等の遵守

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	専修学校、指定保育士養成施設の設置基準を満たし適正に運営されている。	4
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護ポリシーを定め、その規定に則り諸活動に必要な個人情報を適正に扱っている。	4
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	「自己点検・評価に関する規程」に則り、私立専門学校等評価機構のフォーマットを基準に自己評価する体制が整い実施した。	4
9	4	自己評価結果を公開しているか	4	令和3年度において自己点検・評価書のホームページでの情報公開の体制を整備した。	4
<p>(1) 課題 整備した情報公開の体制を適切に運用し、また必要に応じて改善・見直ししていくことが必要。</p> <p>(2) 改善策 令和4年度において適切に運用していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(10) 社会貢献・地域貢献

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	新型コロナウイルス感染症により規模は縮小したが、建学祭では子どもたちに向けた出し物を披露。パンフレット撮影では近隣保育園の園児をモデルに起用。	4	学校前の花壇の整備が行き届いており、教員の日々の気配りが感じられる。(鈴木隆委員)
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	公開講座および職場体験等の申し入れがあれば積極的に中高生の受け入れを実施している。	3	
(1) 課題 特になし (2) 改善策 特になし (3) 特記事項 特になし。						